

予算審査特別委員会 (討論の一部抜粋)

■議案第2号～10号までの予算全般について

反対 本澤 節子 議員

予算全てに反対します。市は時代認識を誤り、誠実に税金を払っている市民の健康を守る義務を果たしていないからです。市財政は乏しいのに無駄が多く、政策がぶれています。市民の幸せを守れない平成29年度予算すべてに反対します。市民の現実に合った政策を市は真剣に研究すべきであります。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

本市議会では委員会の中で「意見」の時間や議員間討議を設けるなどして、議員がより議論しやすい環境、議論できる環境を整えてきました。そのような中で予算審査特別委員会において否決が妥当と思われる意見が出ていないこと、修正すべき点などの対案・提案が十分示されていないことから、私は平成29年度予算関係議案すべてに賛成します。

●議案2号 平成29年度大田原市一般会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

平成29年度は「おおたわら国造りプラン」のスタートの年として、実に多くの、様々な大型公共事業が計画されています。一方、大田原市の人口減少は止まらず、高齢者から子供まで、生活の深刻な格差が広がっているのが現実です。この現実を直視し、市民福祉を充実させることや、地域の実情に沿った事業にする為、住民の中に入って、十分な審議が必要ではないでしょうか。大田原市から広まったと言っても決して過言ではない、子供たちの未来を見据えた、学校給食の無料化は評価しますが、多くの公共事業の実施には透明性と、市民への説明をしっかりと果たされる事を強く求めます。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度一般会計予算は、新庁舎建設事業、小学校改築事業などの大規模建設事業があることから350億という過去最高の予算であり市債発行額も大きく膨らんでいますが、震災復興特別交付税、合併特例債等の市に有利な制度を使い、いずれやらなければならない事業を今やるという性格のものであると理解しています。今やらなければ後年度の市民に重い負担がのしかかってくることにもなります。市民の後年度負担を減らすことにより、各種福祉施策の充実・維持にもつながると考えます。予算審査の結果や各議員から出された委員会内の意見を踏まえ、市民の幸せを守る予算であり、その妥当性を認めます。

●議案3号 平成29年度大田原市国民健康保険事業費特別会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

国民健康保険事業の実態は、国保加入世帯1万1,522世帯の内、滞納世帯数は1,348世帯(約12%)、医療費を全額自己負担の資格証明書発行数は319世帯で、県内8位になっています。短期被保険者証の発行数は295世帯です。住民の実態を踏まえ、さらなる負担軽減に努めることや、国に財政支援の要望など、保険者の責任で、被保険者の命と健康を守る事を求めます。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度国民健康保険事業費特別会計予算は、保険料が高い、という点が意見としてありますが、減額の税率改定に加え、従来の減額措置などもあります。負担が重いと感じる方はいると思いますが、皆で負担しあうという保険制度の趣旨をご理解いただきたいと思います。市民の健康と命を守るためになくてはならない国民健康事業です。その運営に本予算が妥当であることを認め、賛成します。

●議案6号 平成29年度大田原市介護保険特別会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

介護保険については、保険料は払っているのに、実際にはサービスが使えないなどの「保険あって、サービスなし」の実態、「介護離職」などの実態が深刻です。求められているのは、利用者の生きる希望を引き出す介護制度です。国の介護保険法に追随した制度の構築で「介護難民」を出さないよう、保険者である市の裁量権を発揮されることを求めます。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度介護保険特別会計予算は、保険料が高いとの指摘がありますが、保険料は介護サービスの給付実績に応じていることから、本予算の妥当性を認め賛成します。

●議案8号 平成29年度大田原市後期高齢者医療特別会計予算について

反対 秋山 幸子 議員

後期高齢者医療制度の保険料は「後期高齢者医療広域連合」が率を決め、被保険者の収入により決めています。この制度が「広域化事業」となっている為、後期高齢者医療についての実態が明らかでなく、住民から遠のいた状態になっていることは問題です。後期高齢者の年金収入の現状は、平均が127万円で、基礎年金満額の80万円以下が約4割を占めています。後期高齢者医療広域連合が2年ごとに定めた、2016年、2017年の平均保険料は一人当たり、月5,659円となる見込みです。

賛成 予算審査特別委員会副委員長 星 雅人 議員

平成29年度後期高齢者医療特別会計予算は、委員会において反対の意見等は出ておりません。市の業務は賦課徴収が中心であることや過去の実績から鑑みて、本予算の妥当性を認め賛成します。